



F・R・Lユニット(同軸型)

品番 TP-25T0GB-8/10

当社製品をご採用いただきありがとうございます。
ご使用に際しましては、本書をよくお読みの上、正しくご使用ください。

●安全に使うための表示

使用、保守、点検の前に必ずこの取扱説明書を読み、次の表示の意味をよくご理解の上、使用してください。

表示 表示の意味



危険 取扱いを誤った場合、使用者が死亡、重傷又は、健康上、重大な危害を被る可能性が極めて高いことを示します。



警告 取扱いを誤った場合、使用者が死亡、重傷又は、健康上、重大な危害を被る可能性があることを示します。



注意 取扱いを誤った場合、使用者が重傷を負うか、健康を害するか又は、物的損害が生じる可能性があることを示します。

●仕様

管接続口径 : Rc 1/4 (呼称8A)
Rc 3/8 (呼称10A)
使用流体 : 空気
使用圧力 : 1.0MPa以下
設定圧力 : 0.05~0.85MPa
耐圧力 : 1.5MPa
周囲温度 : 5~60℃
ろ過度 : 5μ
質量 : 0.55kg

●使用上の注意事項



警告

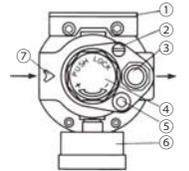
- 使用圧力は、1.0MPa以下で使用してください。
- 使用温度は、5~60℃の範囲を守ってください。
- 取付場所は、直射日光や有機溶剤の雰囲気のご使用は避けてください。
- 分解点検は、機器と配管内の圧力を抜いてから行ってください。
- 使用する油は、“タービン油1種 ISO-VG32”相当品を必ず使用してください。
- 部品洗浄は、中性洗剤を使用してください。

●取付



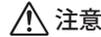
注意

- 取付方向は、ボディの三角表示の方向に空気が流れるように取り付けてください。
- 取付姿勢は、ドレンコック部が下になるように取り付けてください。
- 取付場所は、直射日光や有機溶剤の雰囲気 avoiding してください。
- 保守点検のため周囲には余裕空間を設けてください。



- 1 プラケット
 - 2 ニードルバルブ
 - 3 アウタードーム
 - 4 ハンドル
 - 5 フィードプラグ
 - 6 圧力計
- ②空気流れ方向マーク

●配管



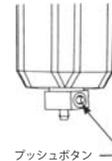
注意

- 配管する前に、配管内を十分フラッシングして配管内のゴミ等を除去してください。
- 配管時には、ねじ部にシールテープ、もしくはシール剤を塗ってください。
- 配管、継手をねじ込む場合は、切粉やシール剤が内部に混入しないようにしてください。また、締め付けトルクは下記の表の範囲内としてください。

配管サイズ	締め付けトルク(N・m)
Rc1/4	12~14
Rc3/8	22~24

●ドレン排出

ケース内に溜まったドレンは、銘板の「DRAIN LIMIT」位置に達するまでに、ドレンバルブの操作で排出してください。「DRAIN LIMIT」以上にドレンが溜まると出口側にドレンが流出し、他の機器の作動不良の原因となります。ドレン排出操作は、ドレンバルブのプッシュボタンの太い方を押します。また、配管内の空気圧が0.05MPa以下になると、ドレンバルブが開き排出される機構となっています。



プッシュボタン

●圧力調整

ハンドルを上へ引っ張りロックを解除し、二次側圧力を上げる場合には、ハンドルは右回しに回転し、設定する圧力にセットします。二次側圧力を下げる場合には、ハンドルを左回しに回転し、設定する圧力未満まで一度下げた後、右回しに回転を変えて設定の圧力をセットします。二次側圧力がセット出来ればハンドルを押し、ロックしてください。



ハンドル右回して二次側圧力上昇

ハンドル左回して二次側圧力下降

●潤滑油の補給

潤滑油の補給は、加圧中でも行うことができます。フィードプラグを外すと、バルブ(チェックバルブ)が作動し、ケース内は大気圧と等しくなり、フィードプラグ口から補給できます。油量は銘板の「OIL LIMIT」位置まで補給してください。補給後はフィードプラグを元通りに締めてください。

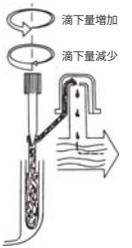


警告

潤滑油には、必ずタービン油1種 ISO-VG32相当を使用してください。スピンドル油やマシン油はケース等の樹脂部品の破損やパッキンの膨潤の原因となります。

●給油調整

給油調整は、空気が流れている時に行い、ニードルバルブを回転し滴下量を調整します。左に回せば滴下量は多くなり、右に回せば少なくなります。設定後の滴下量はほぼ空気流量に比例し、空気流量が増加すれば滴下量は多くなり、空気流量が減少すれば滴下量も減少します。



滴下量増加

滴下量減少

●保守点検



警告

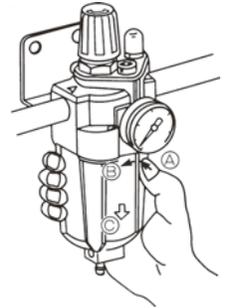
分解する場合は、必ず配管内の圧力を抜いてから行ってください。

●ケース分解

ケースガードの側面のロックボタン(A)を押しながら、左に45°回し(B)、下に引くと(C)、ケースとケースガードが共に外れます。

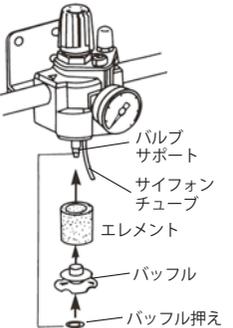
●ケース装着

2個のケースガスケットは、グリースを塗布してボディ側の小口近くに組み込んでください。ケース外周凸部にケースガードのロックボタンを合わせた後、ボディの凹部にはまり、ロックされます。



●エレメントの取り外し

- ・パッフルを上へ押しながらケガキ針でパッフル押さえ(Oリング)を取り外す。
- ・パッフルを引き抜くと、エレメントが取り外せます。
- ・エレメントは内側からフラッシングを行い外面に付着したゴミを取り除いてください。



バルブサポート

サイフォンチューブ

エレメント

パッフル

パッフル押え

●プラケット取付

2本のM5ビスでボディに取り付けてください。

●圧力計取付

圧力計を取り付ける側の六角穴付プラグを外し、ネジ部にシールテープを巻いた圧力計をネジ込んでください。

本書の内容及び仕様は、予告なしに変更することがあります。ご了承ください。

総発売元 **トラスコ中山株式会社**

〒550-0013 大阪府大阪市西区新町1丁目34番15号

E-mail: techno.center@trusco.co.jp

お客様技術相談窓口
テクノセンター ☎ 0120-509-849